

## 8-4-1 統括技術委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 委員会の開催

- ・開催数：6回（偶数月）

令和5年4月26日、6月26日、8月29日、10月26日、12月21日、令和6年2月27日

#### (2) 統括技術委員会の横断的活動（主要議事）

- 各WG（生産性向上WG、維持管理対策WG、業務体系WG、公益活動WG、業務研究発表会WG、新しい生活様式の道路空間WG、協調領域検討WG）の活動を実施した。
- 「新しい生活様式の道路空間WG」では、令和3年6月より議論を行ってきた「ひと」中心の「みち」づくりを実現するための課題と対応方法について提言書を作成し、6月27日に中村会長から国土交通省道路局長に手交した。
- 「協調領域検討WG」は、今年度6月に立ち上げ、東京大学i-Constructionシステム学寄附講座（協調領域検討会）にて担当する「設計WG」の実施体制を強化するとともに、協調領域の範囲やその社会実装に向けた検討を推進した。
- 東京大学i-Constructionシステム学寄附講座（協調領域検討会）の第Ⅲ期継続に関する小澤教授との意見交換会（9/5）を経て、第Ⅲ期継続説明書を作成し、技術部会に提出した。
- RCCM 自主学習システム専門委員会より要請を受け、更新登録に使用する建設一般と専門技術の各科目の自主学習教材原稿を審査し（6/13, 6/22）、学習内容の充実に寄与した。
- 「業務研究発表会」を企画・運営し、令和5年9月12日に発表者と審査員は発表会場にて、聴講者はオンライン形式にて開催した（論文応募数84編、発表論文32編）。
- 未来塾対応WGの一環として、共通仕様書と歩掛改定要望について、国土交通省技術調査課と2回（7/24, 9/22）の協議を経て、延長1km未満の道路予備設計、1業務当りの関係機関協議の歩掛改定、仮設構造物の任意仮設

と指定仮設の注記追加等の要望事項を説明し、改定要望一覧表を提出した（9/26）。

また、技術調査課への改定要望をより根拠のある説明内容に改善すべく、建コン協会に「国土交通省設計歩掛調査に関するご協力のお願い」を協会会員に通知（11/16）し、歩掛調査内容を収集・確認中である。

- 創立60周年記念事業実行委員会から要請を受け、令和5年10月5日の記念講演会開催に際し協力した。
- 日本道路協会の出版図書の電子化打合せ（9/7意見書提出, 10/13, 2/7）、統括技術委員会および交通基盤技術委員会メンバーとの意見交換会（9/21）、建コン協会を対象に開催した最終利用形態説明会（3/6）を経て、令和6年度からの暫定利用開始（4/10）に向け、意見具申した。
- ビジョン2025委員会において、統括技術委員会3技術委員会の18専門委員会から当該専門分野の技術革新とそれを活用した問題解決の方向性（案）を提案した。
- 国総研・土研との意見交換会（12/5）に参画するとともに、統括技術委員会（7WG, 3技術委員会）メンバー企業から5分野18事例のプレスリリース済み新ビジネス・技術開発案件を提供し、意見交換会用資料とした。
- 国総研研究評価委員として、国総研研究成果に対し質疑応答を踏まえ、評価・意見具申を行った（7/14, 10/31, 11/16の3回開催）。
- 国土交通省 国土技術研究会の審査委員として、国土交通省職員等の技術発表会の審査を行った（12/7, 12/8の2日間開催）。

### 2. 次年度の活動について

- 各分野の横断的な諸テーマの検討
- 技術部会からの指示事項の検討
- 3技術委員会の要望検討、技術部会への上程
- RCCM 自主学習・教材の作成・更新
- 国総研・土研との技術交流
- 白書・対外活動への支援、他

（統括技術委員会委員長 齋藤 哲郎）